

一心園

有機農業の取組 ③①

<基本情報>

所在地：宮崎県日之影町

<農場概要>

- 茶5ha、全て有機JAS認証を取得
- 生産から製造・加工・販売までの一貫経営を確立

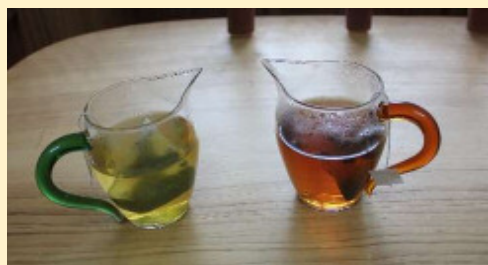


<有機農業に取り組むきっかけ>

- 現代表の父親が知人の農薬が原因と思われる体調不良を知り、昭和63年から無農薬栽培に取り組むが、収穫量激減となり一旦は諦める。しかし、無農薬への思いを捨てられず収穫量を度外視して平成4年（1992年）に再度、有機茶栽培を開始。
- **平成15年（2003年）に有機JAS認証を取得。**

<販売について>

- 量は年間12トンで殆どが釜炒り茶で他、紅茶、烏龍茶。
- 販売先は直販（製茶）が7割で、その他はJA（荒茶）等。
- 国内の人口減少による茶市場縮小が考えられる中、更なる販売拡大を見据え海外輸出にも取組む。現在の輸出国はカナダ。



<病虫害対策・除草対策・土づくり>

- 病虫害対策
 - ・天敵（寄生蜂）の発生により、害虫の被害を抑制。
 - ・病虫害に弱い品種（やぶきた）から病虫害に強い品種（さえみどり、かなやみどり）へ品種分散。
 - ・2番茶収穫後の強めの剪枝で害虫のついた枝を除き、害虫の発生を抑制。
- 雑草対策
 - ・草堆肥を畝間に敷くことで雑草を抑制。
- 土づくり
 - ・自家製発酵草堆肥やぼかし肥料を施用し、高品質な有機茶生産を実現。

<苦労しているところ>

- 特に急傾斜地での茶摘みや除草作業が重労働になっている。また、ここ2～3年は宿根性のヤブガラシの除草に苦労。

<現場の課題>

- 有機栽培による収穫量減収の抑制

<今後の展開>

- お茶を使用したスイーツ販売や、ティーパック商品の充実を思案中。病虫害対策と味の向上を図るため、微量要素の活用を検討。



【お問合せ先】TEL.0982-87-2643

会社ホームページ<http://www.issin-en.com/>